



YOKOHAMA ASAHI ROTARY CLUB WEEKLY

世界へのプレゼントになろう

「世界へのプレゼントになろう」 *Be a gift to the world*

2015-16年度 RI会長/K.R.“ラビ”ラビンドラン RI/D2590ガバナー/箕田 敏彦 横浜旭RC会長/新川 尚

国際ロータリー第2590地区

横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区二俣川1-2 後藤ビル2F

TEL.045-365-3273

FAX.045-365-3132

Email:asahirc@titan.ocn.ne.jp

〒241-0821

例会場 二俣川相鉄ライフ4Fコミュニティサロン

例会日 毎週水曜日/12時30分～1時30分



2015年11月18日 第2221回例会 VOL. 47 No. 19

■司 会 副SAA 齊藤 善孝

■開会点鐘 会 長 新川 尚

■齊 唱 手に手つないで

S L 北澤 正浩

■出席報告

会 員 数	32名	本日の出席数	24名
本日の出席率	92.31%	修正出席率	100%

■本日の欠席者

後藤、杉山

■他クラブ出席者

滝澤 (地区)

地区大会出席者

新川、市川、安藤 (公)、青木、福村、五十嵐、

北澤、増田、二宮 (登)、二宮 (麻)、

太田 (幸)、佐藤 (利)、関口

■ゲスト

坪井ひとし様 (難民を助ける会)

中里也寸志様 (神奈川芸術文化財団)

■皆出席者表彰



福村 正会員 4年

佐藤 真吾会員 13年

漆原恵利子会員 4年

■長寿表彰



二宮 登会員

吉原 則光会員

岡田 清七会員

■米山功労者表彰



吉原 則光会員 (第4回マルチプル)

■会長報告

皆様こんにちは、先週の土曜日、14日は地

区大会でした。例年、二日間行われていましたが、今年度は、一日目はRI 会長代理ご夫妻歓迎晩餐会のみとなり、本会議は二日目に集約されました。本会議では、当クラブが米山記念奨学会寄付 4,000 万円達成クラブとして表彰を受けました。また、午後の青少年紹介で商大高校 IAC 7 名と共に登壇し、紹介されました。

今年の記念講演は「ハードルを越える」と題して講師に為末 大様をお迎えして開催されました。ユーモアを交えた語り口で、世界大会メダル獲得までの裏話や、現在はパラリンピック選手の育成、義足の開発をされていることなど興味深いお話でした。

また五十嵐会員が尽力されたロータリー子ども美術展も 1 F フォワイエで展示されました。子供たちの絵は明るい色が多く、震災被害から立ち直りつつあることを感じさせてくれました。見逃した方はチャリティーコンサートでも展示予定ですので、是非、お出かけいただきたいと思います。

今週の月曜日、16 日は親睦委員会によるこの指とまれ企画、川崎競馬場ナイトレース観戦第二弾が開催されました。私は馬券は掠ってばかりで、ニコニコを増やすことが出来ませんでした。準備してくださった後藤会員、北澤会員をはじめ、親睦委員会の皆様、参加された会員の皆様ありがとうございました。

○地区関係

1) 7クラブ合同例会

日時 1月27日午後6時15分～

場所 新横浜国際ホテル

内容 講演 平塚あけみ様 (田中家五代目女将)
「横浜とともに歩んだ田中家の歴史」

後ほど出欠の確認を致します。

2) ローターアクト主催第46回地区年次大会

日時 12月13日(日)午後1時～

場所 メモワールプラザソシア 21

参加される方は事務局までご連絡下さい。

2) クラブ奉仕委員長会議

昨日、17日クラブ奉仕委員長会議へ福村委員長の代理で出席して参りました。

会議では、金杉第二ゾーンコーディネーターと露木地区戦略計画委員長からお話があり、引続きテーブルごとのミーティングがあ

りました。クラブ奉仕は守りの戦略、社会奉仕、国際奉仕は攻めの戦略、青少年奉仕はその両方の要素が必要、といった話や、多様なクラブ奉仕活動に対し、各活動の存在意義を正確に理解しクラブ組織の質的向上を実現して、全ての活動を戦略的に再構築するといった話がありました。全体の印象としては、クラブを活性化し会員増強に繋げましょうということだと感じました。



■幹事報告

1) 例会臨時変更のお知らせ

○神奈川東ロータリークラブ

日時 11月27日(金)

優良職場訪問及び夜間例会

日時 12月25日(金)→23日(水)夜間移動例会

「年忘れ家族会」

日時 1月1日(金)祝日

日時 1月29日(金)→25日(月)夜間移動例会

神奈川 RC 神奈川東 RC 合同賀詞交歓会

○神奈川ロータリークラブ

日時 12月21日(月)夜間移動例会

クリスマス家族会 点鐘 午後6時30分

場所 横浜ロイヤルパークホテル

日時 12月28日(月)休会

日時 1月4日(月)休会

日時 1月11日(月)休会

日時 1月25日(月)夜間例会

点鐘 午後6時30分

神奈川 RC 神奈川東 RC 合同賀詞交歓会

■親睦委員会

北澤 正浩

1) この指とまれ企画「川崎競馬場ナイトレース観戦」で参加いただいた方々、有難うございました。

2) クリスマス会のお知らせ

出欠確認は本日までです。よろしくお願ひします。

横浜旭ロータリークラブ クリスマス・家族親睦会

12月19日 土曜日
18時～21時

場所：横浜市中区山下町115 みなとのみえる丘公園
KKR ポートビル・横浜 4階

電話：045-621-9684

会費：会員 10,000円
家族・友人 8,000円
小学生 3,000円
幼児 無料
(幼児の椅子が必要な場合は、北澤まで申し出てください)

会費の集金はニコニコと一緒に当日おこないます。

連絡先：親睦委員長 北澤正浩
電話：090-7835-3033



■世界のクリスマスのご案内 二宮 登
12/1～25日、以下の催しが開かれております。是非皆さんお誘い合わせの上、お出かけ下さい。 後援 横浜マニラ友好委員会
協賛 横浜日豪協会

■チャリティーコンサート部会 福村 正
1月11日イベントのポスターが出来上がりました。会員各位におかれましてはご持参いただきぜひともご活用いただきたくお願い申し上げます。地域からの協賛金募集と併せてご協力の程、お願い致します。

■雑誌委員会

秋内 繁

○ロータリーの友 11月号

先日情報集会Bチームで意見が出ました「ロータリークラブを知ってもらおう」という視点から、ロータリーの友11月号を見てみます。

又、先週雑誌委員会滝澤委員長からお話がありました「ロータリーの公式ロゴ」について、本誌横書きP35をご覧ください。内容は2013年8月に新しい公式ロゴが発表されました。しかしながら、現在も旧ロゴを使用しているクラブが数多くあります。新ロゴは歯車の色が黄色一色です。文字と歯車とを合わせて公式ロゴとなっています。公式ロゴを正しく使って下さい。

では「ロータリークラブを知ってもらおう」という視点から本誌をみてみます。

1) 縦書きP15をご覧ください

20円でできるロータリーの広報 (丸亀RC)
・私製の1シート費用420円のフレーム切手を作成

・切手一枚当たり20円の費用

・この20円を広報費用と考え、切手で広報を行う等

2) 縦書きP18をご覧ください

ドイツの鉄道模型とクラシックコンサート

(宝塚中RC)

・駅前の商業施設で年4回実施

・市と教育委員会、商工会とRCの協賛で10年前から実施

・来場者は約3万人

3) 縦書きP28をご覧ください

楽しく、やり甲斐のあるロータリーにしよう！
(箕輪RC)

・楽しくやり甲斐のあるロータリーにしよう！
を目標に従来から積極的に町の事業や奉仕活動に参加

・私たちが楽しく活動していると知ってもらえば、おのずと会員増強につながるのでは、ロータリークラブを知ってもらおうと各RCがいろいろな試みを行っています。周知してもらうには継続して行うことが必要かと思えます。

■米山記念奨学会

新川 尚

○寄附金速報～

米山月刊への多くのご支援に感謝！

10月までの寄付金は前年度同期に比べて4.3%増（普通寄附金0.5%増、特別寄附金6.9%増）、約2,370万円の増加となりました。3,000万円の高額寄附をいただいただけでなく、特別寄付者数が前年度同期より300人以上増加したことにより、前月までのマイナスがプラスに転じ2003-03年度以降14年間の中で最高額の寄付累計となりました。

多くの方々からのご支援に心より厚く感謝もうしあげます。上期も残り2ヶ月とを切りましたが今後とも引き続きご協力賜りますようお願いいたします。

■神奈川芸術文化財団の賛助会員募集中！

中里也寸志



皆さん、こんにちは。

公益財団法人神奈川芸術文化財団は県立の文化施設神奈川県民ホール、神奈川県立音楽堂、KAAT神奈川芸術劇場を運営し音楽公演、演劇、ミュージカル、ダンス伝統芸能、オペラ、バレエ、展覧会など幅広い舞台公演をお届けしております。

当財団では賛助会員の制度をつくり、広く皆様のお力添えを求めています。皆様のご支援が新しい神奈川の文化と芸術を育てていきます。劇場との新しいかかわり方。この機会に財団の賛助会員になりませんか。積極的に文化を育てるサポーターを求めています。是非ご入会下さい。

■ニコニコBOX(会員敬称略)

新川 尚／①坪井様、本日は卓話宜しくお願ひ致します。②中里様ようこそ。

市川 慎二／①坪井様、本日の卓話宜しくお願ひ致します。②長寿会員の皆様のご健康を祝して。

安藤 公一／①難民を助ける会より坪井さんにお越し頂き、シリア難民のお話をして頂きます。宜しくお願ひ致します。②先週末の地区大会ご参加の皆様、お疲れ様でした。

佐藤 真吾／①皆出席をいただき有り難うございます。②坪井様、本日はようこそお越し下さいました。よろしくお願ひ致します。

吉原 則光／坪井様、ご多用のところ卓話有り難うございます。楽しみです。

漆原恵利子／①皆出席祝いをありがとうございます。健康第一、マイペースでこれからもいきたいと思います②坪井さんようこそ。卓話よろしくお願ひいたします。

岡田 清七／坪井ひとし様、難民を助ける会の卓話、大きな課題です。聞かせて頂きます。

北沢 正浩／①坪井様ようこそ。卓話宜しくお願ひ致します。②長寿会員の皆様おめでとうございます。大先輩の方々をめざして私もがんばります。

■卓話「シリア難民問題と日本」

AAR JAPAN[難民を助ける会]坪井ひとし



ご紹介いただいた、坪井ひとしです。難民を助ける会、というNGOで活動しています。本日のこの例会で卓話を、というお話を今から3週間ほど前にいただきました。シリア難民について、というお題なんですけど、このようなホットなテーマは原稿の用意をしても、だいたい新しい展開があったりします。ちょっとイヤな予感がしました。

1) パリのテロ、ロシア機の墜落、そのきっかけは？

ところが、その予感を超える予想もしない展開となってしまいました。先週金曜日、パリで大規模なテロがあり、最新の報道では、亡くなった方は130人を超えました。フランスは、報復措置としてISの拠点であるシリアのラッカの街を連日空爆しています。その前、10月31日には、エジプトのシナイ半島で、ロシアの旅客機が墜落して224人が亡くなる、という事件がありました。機体を調べたところ、爆発物による墜落と分かり、テロと断定されました。いずれに対しても、IS、イスラミックステートですね、そのISが犯行声明を出しています。どちらにもISが関与しているとすると、どうもISのテロ活動が、これまでの個人による単発のものから、組織的なものに変化しているように見えます。そして、ロシアとフランスがターゲットになった背景には、シリアにおけるISを標的とした空爆を、アメリカは以前から実施していた訳ですが、この二つの国が今年の9月から新たに開始したことと関連があるようにも見えます。

混迷を極めるシリア情勢ですが、その発端はどのようだったのでしょうか？ 本日は、シリア内戦の状況。そして、シリア難民の現在の状況を見ていきたいと思います。そして、更には、日本として難民の問題にどのように対応していくことができるのか、そういう点までお話しできれば、と考えています。

2) シリア混迷の背景

今日、お集まりのみなさんの中で、シリアに行かれたことがある、という方、いらっしゃいますか？ あるいは、中東に行ったことがある、という方は？ いらっしゃいますよね…

難民を助ける会でシリア難民の支援活動を実施する駐在員を募集しました。シリアを訪問したことがある、という人たちが何人も応募してきました。話を聞くと、シリア人は、イスラムの国の中で、ともて親しみやすい人たち、と口を揃えて言います。田舎に行くと、人々が「私の家に寄っていけ。」「そこで食事を一緒にしよう。」と声をかけてくる、というのです。日本で失われつつある様子がそこにあった、というのです。その親しみやすいシ

リア人の国が、どうして今のような状況になってしまったのでしょうか？

遡れば、2010年に始まった「アラブの春」が、きっかけでした。2011年、立ち上がった「自由シリア軍」などの多数の反政府勢力とそれを支援するアメリカや欧米各国。対して、その反政府勢力を制圧しようとするアサド政権とその政権を支援するロシア。その代理戦争の様相になったんですね。そこにクルド民族の独立をかけた戦いが重なりました。クルド人は、国家を持っていません。国を持たない民族としては最大の規模で、3,500万人が、イラク、トルコ、シリアなどに広く住んでいます。三つ巴、と行って良い混乱が続いていたのですが、さらに2014年6月に、過激派組織（イスラミック・ステート）ISが一方的に国家の樹立を宣言して大規模な侵攻を開始します。四つ巴、という言葉が一般的かどうか分かりませんが、そういう状況になっています。

今月初めに、シリア国内で活動している、赤新月社の女性職員2人が日本に来ていました。赤新月社、というのは、ご存知の方も多いと思いますが、イスラム教国では宗教的な理由から十字を使うのを避け、赤い新月のロゴを使っています。20代後半と30代の女性だったんですが、爆破現場で救急活動を行っている、と、二次爆発に遭って、目の前で同僚が亡くなる、そんなシリア国内の状況を語ってくれました。病院は爆撃の標的にもなってしまうので、今、人々は地下を掘ってそこに病院の施設を移しています。

これまでに、国連はシリアの和平に向けて仲介しようとはしますが、失敗。アメリカによる空爆に加え、ロシアとフランスがISへの空爆を開始したら、シナイ半島で旅客機が墜落して、パリでのテロが続いた。

3) 私たちと同じような生活をしてきた人が難民に

テレビで、シリアを逃れた難民が、海を渡ってヨーロッパに押し寄せている姿をご覧になったと思います。そして、一月半ほど前に報道された一枚の写真。3歳のシリア人の男

の背景にいたアメリカとロシアがともに参加していることは、プラス材料です。一方、直接の当事者であるアサド政権も反体制派も参加していません。そもそも、反体制派といっても統一された組織ではありません。まだまだ予断を許さない状況であることに変わりはないでしょう。

二つめの、近隣諸国への定住。これは、それぞれの国の理解と協力はもちろん、国際的な協力が必須です。安部首相は、9月30日にニューヨークの国連総会で、イラク・シリア難民問題について980億円の経済支援を表明しました。このような支援は、非常に重要です。私たち難民を助ける会は、トルコ国境地帯においてNGOの立場でシリア難民の支援を実施しています。難民がトルコ社会に適応できるよう、トルコ語やトルコの習慣・文化などを伝えたり、シリア難民同志が情報交換できるようコミュニティーセンターを運営したりしています。また、障がい者の支援も実施しています。年間の投入資金は、昨年度の実績で1億8千万円、今年度の予算は4億円を超えています。それだけお金がかかりますし、人手もかかります。国際的な協力が求められます。現在、難民を助ける会以外にも、日本のNGO十数団体が、ヨルダン、レバノンなどで支援活動を実施しています。

一方、同じ国連総会の場で、安部首相は、「難民の一部を日本に受け入れることは考えているか？」との海外メディアの質問に対して、「難民受け入れよりも国内問題が先決。」と取れる対応をして、批判的に報道される、ということもありました。

難民の日本への受け入れについては、どう考えたらよいのでしょうか。これは、三つめの対応策、第三国定住のテーマです。第三国定住は、最初に難民として生活を始めた国を離れて、それとは別の国に定住するものです。

日本には2008年に、100人に満たない人数ですが、タイの難民キャンプに滞在するミャンマー難民を受け入れた経験があります。又インドシナ紛争を受けて、ベトナム、ラオス、カンボジアから、1万1千人を超えるインド

シナ難民を受け入れた実績もあります。

私たちが活動しているトルコでシリア難民の方々の声を聴くと、日本への定住を希望する声はあまり聞かれませんでした。地理的に遠いですし、言葉の問題もあります。親族や知人がいるわけでもない日本であれば、当然のことでしょう。一方、日本への渡航を強く希望する人たちがいました。ケガや病気で治療が必要な人たちです。こういう現状を考えると、日本としては、シリア国内や、隣国への経済的な支援に加え、短期的には、難病を患っていたり、地雷で足を失ったり、爆撃で大きな障がいを負った人々の、人道目的の、治療やリハビリ、理学療法などを行うための受け入れが検討できるのではないのでしょうか。ご家族とともに。

シリアの問題は遠い国の話、と捉えられがちです。しかしながら、ここにいらっしゃる皆さんは、日頃から奉仕を活動の中心に据えていらっしゃいますし、今回、卓話でシリア難民の話を知ろう、と考えられた方たちです。この機会に、このテーマを通じて、私たち日本人は、難民問題をどう考えるのか、国際社会の中で私たちに何ができるのか、改めて考える機会にさせていただければ、と思います。

シリアの方々が一番望んでいるのは、難民として先進国で暮らすことではなく、本国で、以前のように自らの力で働き、普通の生活をしていくことです。その実現のために必要なのは、外交努力や、市民も一体となった平和を求める声ではないのでしょうか。

シリア問題を解決する、というのは、日本の外交力だけで対応できるものではないかもしれませんが、そんな日本にもできる貢献があると考えます。例えば、アメリカやロシアのような直接の利害関係者ではない立場だからこそできる、シリア和平への貢献もあるのではないのでしょうか。

■次週の卓話

12/2(水) 年次総会
福村会員

「疫病予防と治療」

週報担当 今野 丁三

平成27年度10月出席率一覧表

員数	会 員 名	ホームクラブ	他クラブ	出席率	員数	会 員 名	ホームクラブ	他クラブ	出席率	
1	秋 内 繁	75	25	100	21	佐 藤 真 吾	75	25	100	
2	安 藤 公 一	100	0	100	22	佐 藤 利 明	75	25	100	
3	安 藤 達 雄	-出席規定免除-			23	関 口 友 宏	50	50	100	
4	青 木 邦 弘	100	0	100	24	杉 山 雅 彦	75	25	100	
5	福 村 正	100	0	100	25	鈴 木 茂 之	0	100	100	
6	後 藤 英 則	100	0	100	26	田 川 富 男	100	0	100	
7	市 川 慎 二	100	0	100	27	滝 澤 亮	100	0	100	
8	五十嵐 正	75	25	100	28	内 田 敏	-出席規定免除-			
9	北 澤 正 浩	100	0	100	29	漆 原 恵利子	100	0	100	
10	今 野 丁 三	-出席規定免除-			30	矢 田 昭 一	-出席規定免除-			
11	倉 本 宏 昭	-出席規定免除-			31	吉 野 寧 訓	-出席規定免除-			
12	増 田 嘉一郎	25	75	100	32	吉 原 則 光	-出席規定免除-			
13	松 本 英 二	0	100	100	33					
14	新 川 尚	100	25	125	34					
15	二 宮 麻理子	50	50	100	35	高 梨 昌 芳	名 誉 会 員			
16	二 宮 登	100	0	100	36					
17	岡 田 清 七	-出席規定免除-			37					
18	太 田 勝 典	-出席規定免除-			38					
19	太 田 幸 治	-出席規定免除-			39					
20	齊 藤 善 孝	50	50	100	40					
例会日	7日	14日	21日	28日						平均
例会出席率	$\frac{23}{26}$	88.46%	$\frac{18}{25}$	72.0%	$\frac{20}{27}$	74.07%	$\frac{17}{26}$	80.77%		
修正出席率	$\frac{27}{27}$	100%	$\frac{26}{26}$	100%	$\frac{27}{27}$	100%	$\frac{26}{26}$	100%		100%